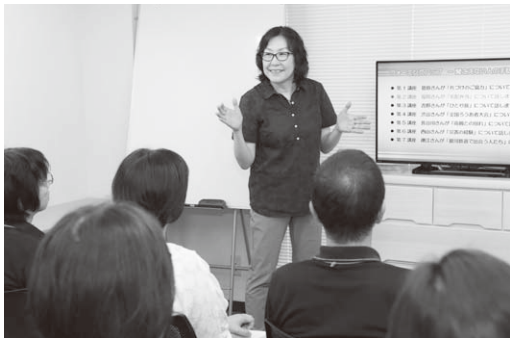
アメリカの風が吹く。

須﨑 利花
東京都



「支部講座・登録手話通訳者クラス」東京支部事務所にて

須﨑さんの指導の下「手話とは、日本語ではない」「語り手の目線が重要」
大変難しい会話がなされている。心は、手指より目で表現されているのだと。
受講生たちの真剣さにも熱が入る。

福生市手話通訳者の会研修会

小学校時代は、転勤の多い家庭の事情で転校も多かった。
「中学になって東京に落ち着いたんです」「この辺はほんとに田舎で、一面レンゲ畑だったんですよ」
今は、すっかり住宅街になった街並みの風景。地元への愛は深い。
自然もあって、福生（ふっさ）市福祉センターの近くには湧き水で育つホタルの郷がある。

仲間を大切にしようと、一人一人にそれとなく声をかけるなど、細やかな気配りをしている。

須﨑さんは今、「ふっさボランティア・市民活動センター」運営委員長として活躍されている。
地域のボランティア仲間との、町づくり・仲間づくりに努力の毎日です。
周りからは頼りがいのあるお姉様として信頼が厚い。時には、お茶目な笑顔で話す姿は、チャーミング。
温かみを感じる人である。

福生市手話サークルもみじ料理交流会

須崎さんが住んでいる福生市には、建て込んだ住宅街とは
別世界の横田基地がある。その敷地は46年たった今も広大。
巨大な航空機がゆっくりと着陸する姿は印象的。
基地周辺のお店は、アメリカの文化がそのままあって、
アメリカTVドラマで育った世代としては
ワクワクしてしまう場所ではあります。
のんびりランチを楽しむ軍服姿の米兵が
永遠に暇であるよう望むばかりです。

写真/文　松本 博